

# 新年度協力隊新たに5名

# よこのやま新聞



ブログもやってます  
「よこのやまぶろぐ」

新年度の4月3日、十日町市役所にて新たに採用された地域おこし協力隊5名を迎え、辞令交付式と訓示が行われた。

今回配置された協力隊員は十日町地域では美佐島1名、飛渡2名、水沢地域に1名。そして松之山地域では2年ぶりに浦田地区へ1名配置された。これで十日町市全域では18名が活動を行うことになった。

地域おこし協力隊の業務内容は十日町市の定義によれば『支援』である。例えば担当集落内での共同作業、農作業や事務など、内容自体は非常に幅広く解



## スキーカーニバル今年も楽しく

3月19日、松之山温泉スキー場にて今年もスキーカーニバルが開催された。今年にはスノーアクティビティで遊んでもらう広場もあり、子供たちの楽しそうな歓声が聞こえていた。また協力隊ブースで物販での参加も例年通り実施。今年も全国カップラーメン大会と銘打って各地の有名ラーメンを展示販売。その場で食べていただけるようお湯も用意した。また、もち米とこうじのみを使った甘酒を販売、寒い中温かいものをいただくことも喜んでいただけた。

積はなかなか難しい。したがって地区ごとの協力隊でやっていることは全く違うので協力隊個人個人の考え方で仕事内容が大きく変わってくる。

私の場合は担当集落内での共同作業、例えば道普請などの力仕事、また年中行事などのイベントについては日程がバッティングしない限りにおいては、必ず参加することになっている。ただ、それだけではなく、移住してから様々な人と関わりを持つ中で、松之山全体の底上げができるような働き方をしたいと思うようになってきているのも実際のところだ。

また、松之山やその他のエリアでの協力隊と連携を取った活動も増えてきている。特産品開発やサイクリングコース設定、農業体験ツアーの企画などの広域で取り組む必要がある活動がそれだ。

さらに来年9月には任期が終了するので、そろそろ退任後の松之山での暮らしに向けた生業づくりも本格的に進めてゆかなければならない。かねてから構想を温めている米の専業農家を基本ベースとした事業組織づくりも具体的に進めてゆく必要がある。